

ご家族、2世帯住宅の方にもご回覧ください

小田急金森泉 自治会報 2021年度 臨時号

発行日 2021（令和3）年8月29日（日）

新型コロナウイルス感染症が蔓延しています。医療従事者、保健所の奮闘に敬意を表します。町田市では南町田病院、町田市立市民病院、多摩丘陵病院において入院治療を行っています。しかし、入院できない患者のため、「入院待機・酸素ステーション」（以下「施設」という）を今月より2か月ほど「ふれあいもみじ館」に設けたいとの打診がありました。「ふれあいもみじ館」は当自治会で各種会議、いずみクラブなどで使用しています。「施設」に関する情報、およびその運用内容について近隣の住民として8月28日町田市、町田市保健所に、配慮・明示の要請をしました。

以下、「*」は町田市からの回答内容と日時です。

町田市・町田市保健所からの情報（24日火曜日の視察時の説明）

- 1 早急に本年10月を目安に当面の間、入院待機・酸素ステーションを設置する。
- 2 「施設」設置の目的は軽症者、中等症者を対象とし、重症化させないこと。
- 3 看護師が常駐し医師は往診またはオンラインの形として、治療行為は行わない。
- 4 独居等の自宅待機者に寄り添うこと。

判明した情報と自治会から町田市への要請

- ふれあいもみじ館が使えないので、自治会活動への支援、特に場所の確保の要請
 - *町田市担当者からは優先を南市民センター管轄部署に相談中（23日、28日）
- コロナ感染症陽性者（以下、患者という）を収容することへの漠然とした不安の払しょくのために説明会の実施を要請
 - *8月28日午後4時より開催、ねむの木保育園対象を29日に実施
 - *施設からの第三者への感染の危険性はない（8月24日副市長視察時、医師会）
 - *施設も換気を十分行うなど対策をする（28日）
- 患者滞在・受け入れ・運用方法の明確化を要請
 - *患者（約10名程度）に酸素投与し、患者は民間救急車、介護タクシーを利用
 - *1泊2日程度滞在するので弁当を配布し、患者は外出できないような工夫をする
 - *汚物などは医療用廃棄物として処理（28日）
- 救急車のサイレン・赤灯等には不安があり、住民の安心感につながる配慮の要請
 - *基本的に救急車は使わない（26日、28日）
 - *町田街道からの進入時にはサイレンを消す（25日、26日、28日）。
- 回復期の患者の帰宅、関係車両の走行ルート of 定型化の要請および、わさび田児童公園の利用者への交通安全関連の配慮の要請

- *運用に伴う（患者以外を含む）運行は回数を制限し、時間帯を設ける（28日）
- 道路に面したフェンスに目隠し設置の要請（24日）
 - *町田市がフェンスの目隠しの工事完了（26日）
- 「施設」運用中の問い合わせ先の明示の要請
 - *保健所保険総務課までとのこと
- 「施設」運用の見通し内容等の情報の提示の要請
- 「施設」運用中、外部との接触防止のための人員または看板配置の要請
- 「施設」運用開始後の近隣との協議の機会を設けることの要請